

学力向上・授業改善 推進全体計画

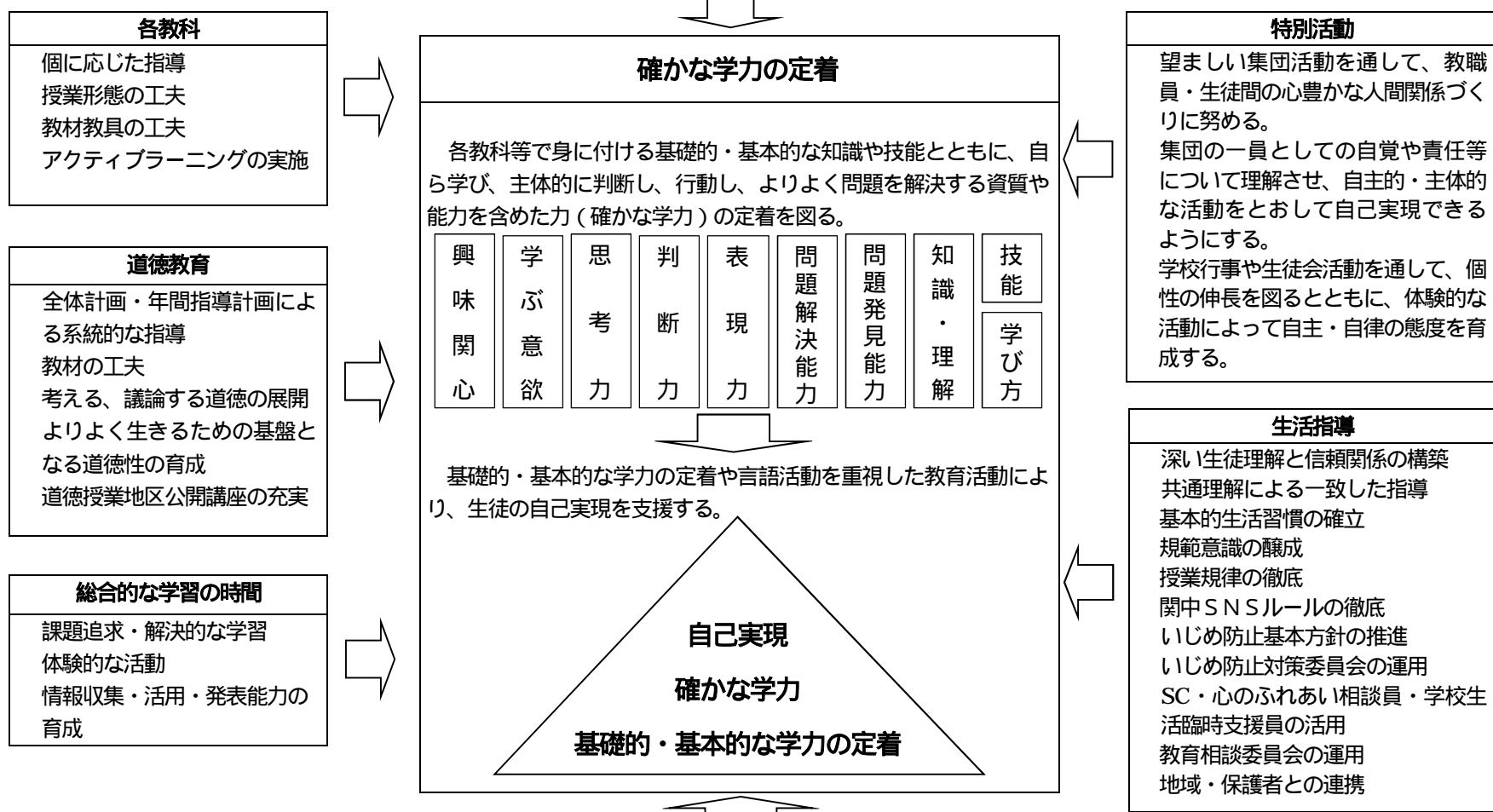
- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・東京都教育委員会教育目標
- ・練馬区教育委員会教育目標
- ・練馬区「みどりの風吹くまちビジョン」

- 教育目標**
- ・心を豊かに 体を健やかに
 - ・行動は自主的に 責任を果たそう
 - ・考える力を伸ばし 友人と助け合う

- ・生徒の実態
- ・学校の実態
- ・保護者・地域の実態や願い
- ・学校を取巻く環境
- ・教師の願い

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 生徒一人一人が、かけがえない人間として、互いに尊重し合い、信頼し合える人間関係を築くことに努め、「人権教育の推進」に関わる具体的な指導を重視する。
- イ 全教育活動で、さまざまな分野の人との交流の機会をとおして自他を慈しみ生命を大切にす心、互助精神の育成、規範意識を身に付ける指導を重視し、これからの地域社会や国際社会に生きる一員としての自覚を育て、豊かな心を育成するための道徳教育の充実を図る。
- ウ 「特別支援教育」「いじめ」「不登校」「問題行動」「進路選択」などの多様な課題に対して、教育相談やガイダンス機能を充実させるために、教育相談委員会を設置する。特別支援教育コーディネーター、登校支援コーディネーターを配置し、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活支援員、養護教諭と関係諸機関との連携のもと、配慮の必要な生徒への指導・支援の方法やいじめ防止、不登校問題への組織的な対応を図る。
- エ 学力調査等の結果を踏まえ、授業改善推進プランをもとに、生徒に確かな学力の定着と個に応じた指導を充実させ、思考力・判断力・表現力等の育成を目指す。また、少人数授業や学力向上支援講師の活用による指導方法の工夫や体験活動を行い、生徒自身が課題を設定し、課題解決に取り組む学習を取り入れることにより、主体的に学ぶ意欲や能力を育てる。
- オ 学校図書館支援員や図書ボランティア等の活用により、学校図書館利用の活性化や読書活動の推進を図るとともに、図書資料等を活用する力を身に付け、言語活動の充実を目指す。
- カ オリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、日本の伝統・文化を見直し、日本のよさを発見する。また、体力および健康の保持増進のため、体力テストの結果をもとに授業での運動の強化を図り、生徒が自ら運動に取り組めるように、校内の施設設備を活用できるようにする。



具体的な取り組み

指導内容・方法の工夫	評価方法の工夫	校内研修の充実	学校評価等の工夫	地域・保護者との連携
授業時間数の確保 習熟度別少人数指導（数学）及びティーム・ティーチング（英語） コンピュータ・情報ネットワークなどのICTの活用 学力向上支援講師の活用（英語） ハートタイム（朝読書）の年間実施 外部人材の活用	評価規準・方法の工夫 生徒のための成績相談日の設定（1・2・3学期末の通知表配付時） 授業に生かす評価の充実	相互授業参観週間の実施（年2回） 外部講師招聘 小中一貫教育の研修 特別支援教育研修 評価評定についての研修 食育研修 食物アレルギー研修 OJTの推進	生徒による授業評価 保護者による学校評価 学校評議員による学校評価 教師自身による自己評価 各種学校評価の公表（HP、学校だより）	評価評定保護者会の開催（授業の年間指導計画と評価計画の配付） 教育ボランティアの活用 キャリア教育の視点での地域事業所を活用した職場体験（2年） 避難拠点訓練（2年） 練馬学習（校外学習）（1年） 積極的な授業公開 学校だより、HPでの情報提供

国語 課題改善カリキュラム

課題	目標	取り組	小学校低学年		小学校中学年		小学校高学年		中学校						
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生				
語彙力不足による読み取りの不十分さ	新出漢字の指導を徹底し、語彙力の向上を目標とする。	漢字学習	もじをただしくかこう ひらがな・かたかな 拗音・促音など 漢字練習	かん字を正しく書こう 漢字ノート 漢字スキル(ドリル) の活用 漢字テスト	習った漢字を使おう 漢字ノート 漢字スキル(ドリル)の活用 漢字テスト		漢字で表現しよう 漢字ノート 漢字スキル(ドリル)の活用 漢字テスト		上手な漢字の使い手になろう 漢字ノート 漢字プリント 漢字テスト						
		教科書単元	『ひらがなあつまれ』 『かたかなをみつけよう』 『かずとかんじ』 ほか	『同じぶぶんをもつかんじ』 『ことばあそびをしよう』 『主語と述語』 ほか	『国語辞典の使い方』 『漢字の音と訓』 『修飾語』 『漢字の意味』 ほか	『漢字辞典の使い方』 『いろいろな意味をもつ言葉』 『慣用語』『熟語の意味』 ほか	『漢字の成り立ち』 『複合語』 『敬語』『和語』漢語・外来語』 『同じ読み方の漢字』 ほか	『漢字の形と音・意味』 『生活の中の言葉』 『漢字を正しく使えるよう』 ほか	『漢字を使いこなそう』 『漢字を身につけよう』 『漢字の音と訓』 ほか	『漢字を使いこなそう』 『漢字を身につけよう』 『国語辞典の活用』 ほか	『漢字を身につけよう』 『相手意識と敬語の機能』 『表現につなげる文法』 ほか				
	教科書単元	できごとやそうぞうしたことをあらわそう 『よく見てかこう』 『てがみをかこう』 『おもい出してかこう』 ほか	今週のニュース 『ていねいにかんさつして、きろくしよう』 『こんなもの、見つけたよ』 ほか	自分の考えを表現しよう 『食べ物のみみつを教えます』『本で調べて、ほうこくする文章を書こう』 ほか		表現を工夫しよう 『事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう』 『グラフや表を用いて書こう』 ほか		豊かに表現しよう 『体験文を書こう』 『鑑賞文を書こう』 『未来をみつめる』 ほか			『読書感想文を書こう』 『意見文を書こう』 『手紙文を書こう』 ほか	『主張文を書こう』 『私の友誼論を書こう』 『企画会議を開こう』 ほか			
	教科外	 出来事やそれに対する自分の考えを表現する活動を、発達段階に応じて日常的に取り入れる。(日記、意見文、感想文、俳句、手紙、作文など)													
読書の不足や内容の偏り	継続的な読書指導を行い、読書量の向上を目標とする。	常時活動	おはなしをたのしもう 読書カード 読書月間(旬間) 読み聞かせ 読書月間(旬間) おすすめの本の紹介 など		お気に入りの一冊を見つけよう 読書カード 読書月間(旬間) 読み聞かせ 読書月間(旬間) おすすめの本の紹介 など		本で視野を広げよう 読書カード 読書月間(旬間) 読み聞かせ 読書月間(旬間) おすすめの本の紹介 図書委員会の取り組み など		本で心を養おう ハートタイム(朝読書) おすすめの本の紹介 読書カード 図書委員会等の取り組み など						
		教科書単元	『読み取りのわざ』 1(学習の手引き)を活用した読解指導									1 関町北小学校考案			
古文・漢文の系統的な学習の不十分さ	段階的に伝統的な言語文化に慣れ、中学へのスムーズな移行を目指す。	教科書単元	むかしばなしをたのしもう 『むかしばなしがいっぱい』 ほか		短歌・俳句に親しもう 『いなばの白うさぎ』 『季節の言葉(春夏秋冬)』 『十二支のはじまり』 ほか		短歌・俳句に親しもう 『ちいちゃんのかげおくり』 『白いぼうし』 『一つの花』 『ウナギのなぞを追って』 『プラタナスの木』 ほか		古典の世界にふれよう 『大造いさんとガン』 『千年の釘にいどむ』 『わらぐつの中の神様』 ほか		古典文学に学ぼう 『カレーライス』『海の命』 『森へ』『やまなし』 『平和のとりでを築く』 ほか		『水田のしくみを探る』 『空中ブランコ乗りのキキ』 『タオル』『トロッコ』 ほか	『壁に残された伝言』 『日本人はアリスの同类だった』 『走れメロス』 ほか	『高瀬舟』『猫』 『海馬』 『ありがとうと言わない重さ』 『文殊の知恵の時代』 ほか
		教科書単元	むかしばなしをたのしもう 『むかしばなしがいっぱい』 ほか		短歌・俳句に親しもう 『いなばの白うさぎ』 『季節の言葉(春夏秋冬)』 『十二支のはじまり』 ほか		短歌・俳句に親しもう 『ちいちゃんのかげおくり』 『白いぼうし』 『一つの花』 『ウナギのなぞを追って』 『プラタナスの木』 ほか		古典の世界にふれよう 『大造いさんとガン』 『千年の釘にいどむ』 『わらぐつの中の神様』 ほか		古典文学に学ぼう 『カレーライス』『海の命』 『森へ』『やまなし』 『平和のとりでを築く』 ほか		『水田のしくみを探る』 『空中ブランコ乗りのキキ』 『タオル』『トロッコ』 ほか	『壁に残された伝言』 『日本人はアリスの同类だった』 『走れメロス』 ほか	『高瀬舟』『猫』 『海馬』 『ありがとうと言わない重さ』 『文殊の知恵の時代』 ほか

2 算数・数学課題改善カリキュラム

発達の段階	期	期
	小5・6年	中学校
内容ア 「合同な図形」 「図形の調べ方」	合同な図形（小5年） 「合同な三角形のかきかた」 対応する辺・角の順番を正しく扱う。 3つの要素を用い、3通りのかきかたが存在することを理解させる。 「3辺方式」「2辺1角方式」「1辺2角方式」の名称を付ける。 正式な合同条件（3通り）を扱う。 までは、2校で共通して指導する。 は実態に応じて扱う。	図形の調べ方（中2年） ~ を簡単に復習する。 の正しい名称を、条件の根拠も示しながら理解させる。 合同な三角形の証明へとつなげていく。また、特殊な三角形（正三角形、二等辺三角形、直角三角形）も扱う。
内容イ 「拡大図・縮図」 「図形と相似」	拡大図・縮図（小6年） 「相似な三角形のかきかた」 対応する辺・角の順番を正しく扱う。 「3辺方式」「2辺1角方式」「1辺2角方式」の名称を付ける。 （問題の条件を変えることで） 「2角方式」でもかけることを知る。 は実態に応じて扱う。	図形と相似（中3年） を簡単に復習する。 の正しい名称を条件の根拠も示しながら理解させる。 平面図形だけでなく空間図形にもつなげていく。
内容ウ 「対称な図形」 「平面図形」	対称な図形（小6年） 「線対称・点対称」 対応する辺・角の順番を正しく扱う。 斜めの対称の軸を扱う。 対称の中心を用いて、独立した線分・図形を描かせる。（基の線分や図形とつながっていないもの） までは、両校共扱う。 は実態に応じて扱う。	平面図形（中1年） を簡単に復習する。 を基に、回転移動、対称移動へと発展させていく。 分度器を使わず、定規とコンパスのみを使用して作図する。

ノートに書く時、統一する計算の書き方・筆算の仕方（繰り上がりの位置など） 一部抜粋

・小学校

④ ひき算の筆算（2年）

$$\begin{array}{r} \overset{10}{\cancel{4}6}1 \\ - 19 \\ \hline 27 \end{array} \quad \text{又は} \quad \begin{array}{r} \overset{10}{\cancel{4}6} \\ - 19 \\ \hline 27 \end{array} \Rightarrow \begin{array}{r} \overset{10}{\cancel{4}6} \\ - 19 \\ \hline 27 \end{array}$$

かいてお
よ...

$$\begin{array}{r} \overset{13}{\cancel{4}6} \\ - 89 \\ \hline 57 \end{array}$$

習熟にしたかいて
こちらのほうが

⑦ 計算のきまり（4年）

$$600 \div (50 + 25)$$

$$= 600 \div 75$$

$$= 8$$

途中の式はかくとまでは
=を左にそろえる

② 分数のかけ算・わり算（6年）

$$\frac{8}{9} \times \frac{3}{10} = \frac{\cancel{8}^2 \times \cancel{3}^1}{9 \times 10} = \frac{4}{15}$$

$$\frac{9}{14} \div \frac{3}{4} = \frac{9}{14} \times \frac{4}{3} = \frac{\cancel{9}^3 \times \cancel{4}^2}{14 \times \cancel{3}^1} = \frac{6}{7}$$

途中で
約分する

・中学校

①中1（正負の数の計算①）

$$18 - (-7) - 14 + (-8) - 5$$

$$= 18 + 7 - 14 - 8 - 5$$

$$= 25 - 27$$

$$= -2$$

②中1（正負の数の計算②）

$$\frac{(-2)^2 + 2^3 \div (-4)}{2}$$

途中の式に書かず、
あいているスペースに書く。

$$= \frac{4 + 8 \div (-4)}{2}$$

$$= \frac{4 - 2}{2}$$

$$= 1$$

③中3（因数分解）

$$(x+2)^2 - 3(x+2) - 4$$

$$x+2 = M \text{ とする}$$

$$= M^2 - 3M - 4$$

$$= (M-4)(M+1)$$

$$= \{(x+2)-4\} \{(x+2)+1\}$$

$$= (x-2)(x+3)$$

3 外国語活動・英語

課題改善カリキュラム

	期		期	
	小学校5年生	小学校6年生	中学1年生	中学2,3年生
重点を置く単元・領域・活動	<p>重点単元 Lesson5「What do you like?」 Lesson7「What's this?」 ・「What's this」「It's～」を用い、何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる単元である。 ・様々なものをクイズの答えの対称にすることができ、インフォメーションギャップをもたせたコミュニケーションの場を設定しやすい。 ・身の回りのものを表す語に多く触れさせることができ、日常的な英語表現に慣れ親しませることができる。</p>	<p>重点単元 Lesson5「Let's go to Italy.」 ・中学校でも学習する「What」「Where」「I want to～」などの基本的な英語表現に繰り返し慣れさせることができる単元である。中学校への連携に適している。 ・行きたい国を友達同士で伝え合う楽しみを味わわせることができ、コミュニケーションへの意欲をもたせやすい。 ・世界的に有名な場所やものの表現に触れさせることができ、英語表現への興味関心の高まりが期待できる。</p>	<p>重点の活動 「英語への意欲」 ・言語活動として英語を活動的に使う姿勢を、小学校の外国活動から継続して行う。歌う、話すなど楽しく体験する授業から、書く、読むなどの授業へ移行する。 「文字」 ・アルファベットや単語を学ぶこと、基本となる文の形を学ぶことに重点を置き、指導する。音で捉えた言葉を文字で可視化していく。</p>	<p>重点の活動 「文法の学習と整理」 ・現在形、過去形、受動態、能動態など、より複雑な文法を指導する。基本的な文法のほとんどを2年次に習得させる。 3学年では文法の整理や表現活動への発展的な移行を行う。 「表現活動」 ・2学年次には表現活動の入り口として、身の回りの物事を説明するような、条件的な英作文で表現する活動に取り組みさせる。3学年次には表現活動の発展として、自分や社会のことについての考えを自由な英作文で表現をする。</p>
身につけさせたい力	<p>「積極的にコミュニケーションを図る態度の育成」 「外国語の基本的な音声に慣れ親しむこと」 友達のことを知ろうとすること。 外国語の音声やリズムに慣れ親しむこと。</p>	<p>「積極的にコミュニケーションを図る態度の育成」 「外国語の基本的な音声に慣れ親しむこと」 友達のことに興味をもって尋ねたり、自分のことを伝えたりしようとする事。 外国語の音声やリズムに慣れ親しむこと。 アルファベットの大文字と小文字の関係に気付くこと。</p>	<p>「学習への積極的な姿勢」 「単語と語順」 会話や発話を主体として英語に慣れ親しみ、挑戦しようとする姿勢を養うこと。その中で、日本語と英語の語順の違いを理解し、簡単な文を作れるようにしていくこと。また、言葉を可視化するために、アルファベットを正確に書く力を養うこと。</p>	<p>「文法の知識」 「表現力」 多種多様な文法を取り扱い、知識の幅を広げさせること。表現活動の活性化を行い、意欲の向上と文法の定着・整理を図ること。</p>
指導上の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で簡単な英単語や日常的な物の英単語を取り入れる。(これは何ゲーム) ・友達とコミュニケーションを取ることで答えを導き出せる活動を取り入れる。(を当てようゲーム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がコミュニケーション活動に無理なく取り組めるようキーセンテンスを繰り返し発話する活動を取り入れる。(絵合わせゲーム・ドボンゲーム) ・児童が積極的に関わろうとするコミュニケーションの場を設定する。(空港ゲーム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動的な学習形態を工夫する。 ・アルファベットの書き方や音を徹底する。 ・書く作業の時間を十分に確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法学習を説明的に行わない。 ・インプットに偏らず、アウトプットを増やし、発言やペアワークなどの活動の機会を毎回の授業に組み込んでいく。
カリキュラム改善の視点	<p>・技能の重点化 中学校へとつながる英語の4技能のうち、「聞く」「話す」に重点を当てた、カリキュラム構成にする。小学校での外国語の目標に沿いながら、中学校への連携を見通して、英語の基本的な表現や音声に慣れ親しめるような手立てを工夫していく。</p>	<p>・中学校への連携へ向けて 小学校外国語活動の音声への慣れ親しみから、中学校での文字指導や文法への理解へとスムーズに連携できるように配慮する。外国語活動で高まった英語に対する児童の知的好奇心を刺激するようなカリキュラムにする。新しく学んだことを積極的に活用していこうとする態度・意欲・姿勢を大切にしていく。</p>	<p>・4技能のバランス 極端に偏った文字指導への移行により、小学校時の外国語活動との「中1ギャップ」が生じないように、書く・読むばかりでなく、4技能をバランス良く配置するよう計画を立て、指導に当たる。</p>	<p>・表現活動への接続 文法学習は受験を意識した問題演習型の指導に偏りがちだが、文法学習と表現活動を常に接続し、会話で使用することで覚えるような授業形態をカリキュラムの基本とする。</p>